

学環

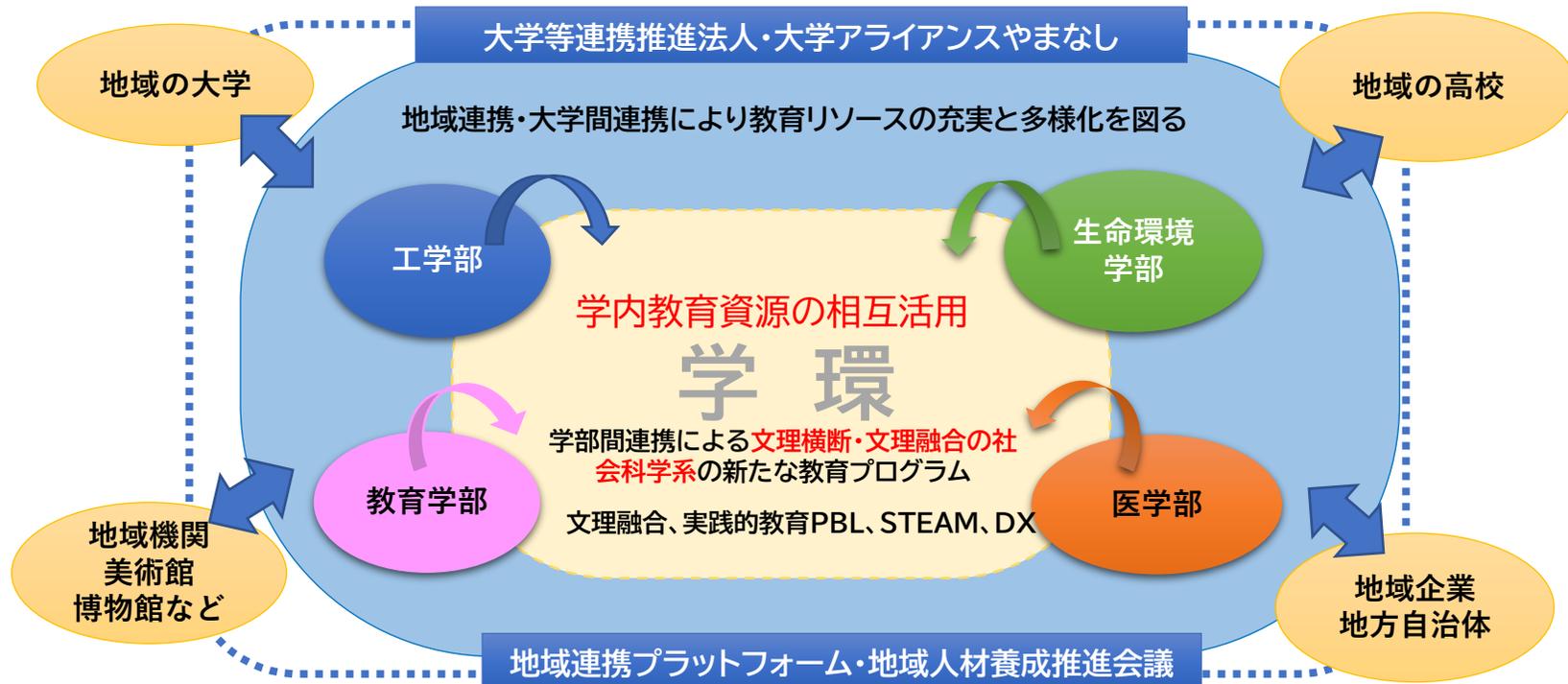
文理融合型の社会科学系を含む学部等連係課程

背景

山梨大学には、教育学部、医学部、工学部、生命環境学部の4つの学部があるが、文科系(社会科学系)の学部を持たない。本学は、新しい教育組織である学環(学部等連係課程)を令和10年に設置する計画である。「学環」により地域連携・高大連携・大学間連携により教育リソースの充実と多様化を図り、これまで本学に欠けていた教育分野(社会科学系)を補完し、地域のニーズに応える人材を養成する。また、学環の設置を機に全学的に教育組織体制を見直し、PBL教育の実施体制を整備するとともに、STEAMやDX教育に対応した文理横断・文理融合型の教育を実現する。

学環の概要

- 学部間連携により**社会科学系**の学位プログラムを提供する
- **数理・データサイエンス・AI**分野なども含む**文理横断・文理融合型教育**を行う。
- SPARC事業で培った教育プログラムを発展的に再構築する。
- 地域連携・大学間連携により教育リソースの充実と多様化を図る
- 高大連携・地域連携により地域のニーズに応える学位プログラムを提供する



学環の教育目標の概要(案)

養成する人材像

エビデンスに基づき課題を理解し、論理的に解決策を立案し、地域社会の未来をデザインできる人材の養成

地域連携、大学間連携、高大連携により、多様な教育資源を取り入れた学位プログラムを構築し、地域のニーズに応える人材を養成する。

- **学部間連携**により学内教育資源を活用することで、**文理横断・文理融合教育**を実現することにより、異なる複数の学問分野のアプローチを用いて思考できる力(文理複眼的思考力)を涵養する。
- **PBL型授業**により、「総合的な学習経験」を積み、「論理的思考力」「創造的思考力」「主体性」「リーダーシップ」「課題設定・解決能力」「表現力」「チームワーク」などの資質・能力を涵養する。
- **数理・データサイエンス・AI分野の教育**により、大量のデータを適切に取り扱い、新たな価値を創造する能力を身に着けさせる。
- **専門教育**により、専門分野への「理解」を深め、専門分野の「知識」と「汎用的技能」を修得させるとともに、当該専門分野にふさわしい「態度・志向性」を涵養する。

PBL:Project Based Learningの略称で、日本語では「問題解決型学習」「課題解決型学習」などと呼ばれている。

■ 当該学環構想に関する学位プログラム検討部会委員のアンケート結果は次ページのとおり

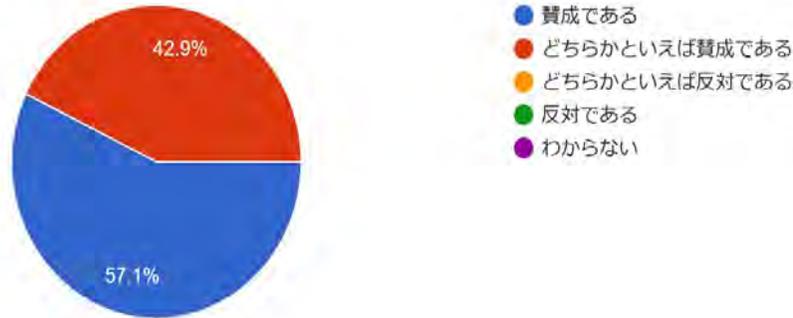
【アンケート内容】

- 山梨大学に新たに社会科学系の教育組織を設置することについて
- 学部等関係課程「学環」の教育分野について
- 社会科学系の教育内容について

学環の教育目標の概要(案)

設問1 山梨大学で学環を設置することについて、どう思いますか。

7件の回答



設問2 設問1で「反対」「どちらかといえば反対」と回答

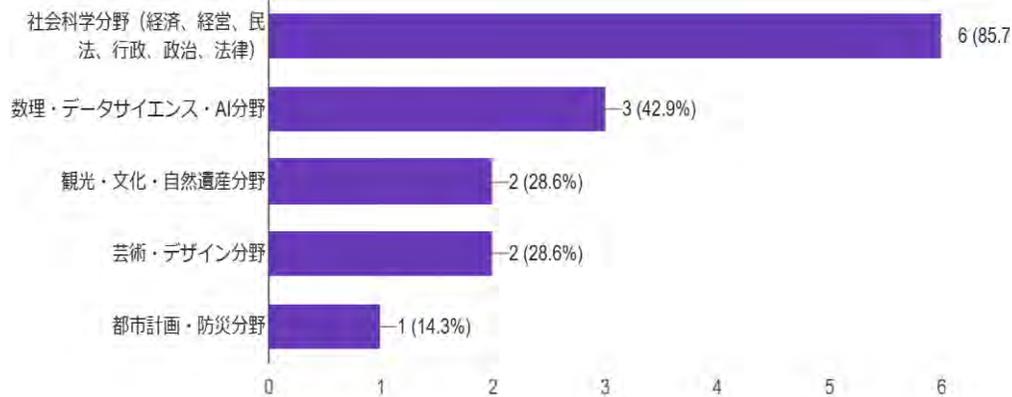
された方のみお答えください。

どのような教育分野の学環を望みますか。 → 0件の回答

設問3 学環の教育分野として適当と思うものを選んでください。

(複数回答可)

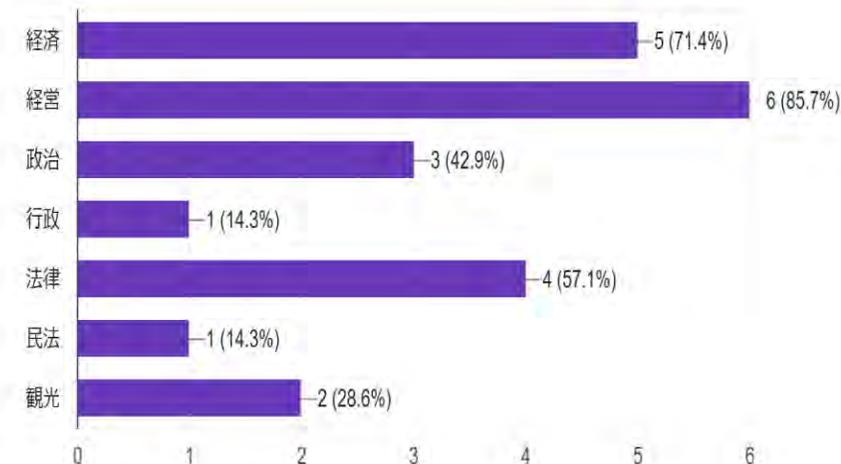
7件の回答



設問4 学生が学んでほしい社会科学の教育内容を選んでください。

(複数回答可)

7件の回答



PBLと従来型講義の違いについて

PBLとは

アクティブ・ラーニング(active learning)の学習方法の一種で、**問題解決型学習(Problem Based Learning)**または、**課題解決型学習(Project Based Learning)**の略称であり、問題に対して知識を組み合わせさせて解決へと導く能力を養うことを目的とする教育法

PBLと従来型講義の比較表

	PBL	従来型講義
学習形態	課題解決型	暗記型
授業の主体	学生	教員
学習順	仮説→検証の繰り返し	基礎→応用へステップアップ
学生の参加形態	1人～グループ	1人
学習方法	ディスカッション等	板書等
利点	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決能力、社会人基礎力を育てる ・学ぶ意欲、批判的思考力、コミュニケーション力を育てる ・応用力が身に付く ・生涯に渡り学び続けることのできる力を育てる ・知識の定着率が高い 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生に体系的な情報を伝達可能 ・“学生の学ぶ意欲が高ければ”効率よく知識や技術を身に付けることに役に立つ

【参考】

・PBL at a glance 一目でわかるPBL(大阪・兵庫・和歌山「産官学地域協働による人材育成の環境整備と教育の改善・充実」テーマ III 領域・規模別産業界ニーズをふまえた教育手法・手段の開発委員会)

・PBL(問題解決型)授業とSBL(科目進行型)授業との違いは(キャリア教育ラボ)

・「学ぶ」と「働く」をつなぐー大学におけるPBL | 3分で知る大学の今#3(大学基準協会公式note)